

特定非営利活動法人 **り・らいふ研究会**

14年度シンポジウムのご案内

1 テーマ

**「木密地域不燃化10年プロジェクトと
これまでのまちづくり実践」
～特定整備路線をめぐる～**

2 概要

都は、首都直下地震の切迫性や東日本大震災の発生を踏まえ、東京の最大の弱点である、木密地域の改善を推進するため、「木密地域不燃化10年プロジェクト」に取り組んでいる。そのプロジェクトの根幹を為す事業の一つとして、密集市街地にある未整備の都市計画道路を期間内に整備する「特定整備路線」がある。この事業は、関係権利者に対して、生活再建等のための特別の支援を行うことを特色としている。本シンポジウムは、この「特定路線整備」を切り口として、これまでの密集市街地のまちづくりの実践事例を比較検証することにより、最も実効性が期待できる整備手法を見出すことを目的として、参加者各位の活発な議論を期待するものである。

3 構成及び発言者

基調講演 中林一樹氏（明治大学特任教授・東京都防災会議地震部会副部長）

パネルディスカッション（会場との質疑応答を含む）

コーディネーター 森反 章夫（東京経済大学教授）

パネラー 中林一樹氏

真野洋介氏（東京工業大学准教授）

田中常夫氏（都・道路整備保全公社用地部マンション用地課長）

堀川顕彦氏（株計画工房取締役）

4 開催日時

2014年12月6日（土）

14:00～17:30

5 会場

旭化成ファミリーホール（協力：旭化成不動産レジデンス株）

西新宿1-24-1 エステック情報ビル9F

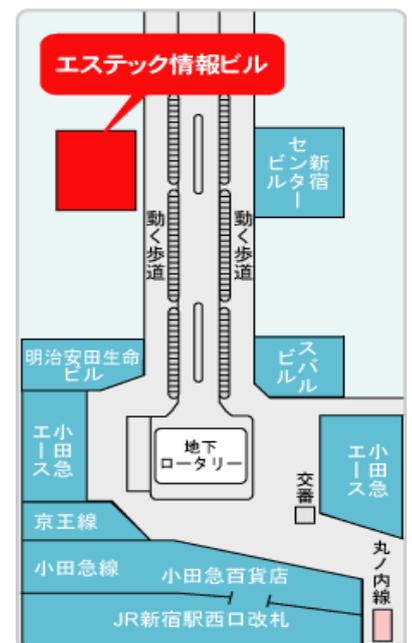
6 資料代

一般：1000円 会員・学生：500円 賛助会員：無料

7 参加申込み

参加を希望される方は、次の申込書により、12月3日（水）までに「り・らいふ研究会事務局」までお申込みお願いします。なお、参加費は当日お支払いください。お申し込みは、必要事項明記であれば様式は自由です。また、終了後に懇親会（会費3000円程度）の開催を予定していますので、こちらも是非ご参加ください。お問い合わせ、お申込み

は、E-mail relife@relife.or.jp まで



シンポジウム発言者等のプロフィール

中林一樹氏

1947 年生まれ 明治大学危機管理研究センター特任教授 工学博士 東京都防災会議地震部会専門委員 (副部会長)、東京都火災予防審議会 (地震部会長)、他。東京都立大学工学研究科 (建築学専攻) 退学後、同理学部地理学科助手、1976 年の酒田大火をきっかけに都市防災・復興研究を始める。理学部助教授を経て 1993 年都立大学都市研究センター教授、2011 年より現職

【主な著書等】

『巨大地震と大東京圏』(共著、日本評論社) 『大都市社会のリストラクチャリング』(共著、日本評論社) 『変容する高齢者像』(共編著、日本評論社) 『イスラム都市の変容』(共著、古今書院) 『安全と再生の都市づくり』(共著、学芸出版社) 『大都市と直下の地震』(共編著、都市研究所)
>>詳細 【執筆論文】 1996 年～2001 年分 2002 年度分 社会貢献活動等

【学会活動】

日本災害復興学会会長・自治体危機管理学会理事・都市計画学会防災復興特別研究委員会 (第 2 部会長)

森反章夫氏

1952 年鳥取県生まれ 東京大学大学院社会学研究科満期退学 現在 東京経済大学現代法学部教授:東京経済大学災害復興研究所所長:特定非営利活動法人り・らいふ研究会理事

【主な著書等】

『越境する都市とガバナンス』(共著) 法政大学出版会 『都市化する力』(共著) 三交社
『現代社会と協働のまちづくり』(まちづくりの百科事典) 丸善
『提言 仮設市街地』(共著) 学芸出版社

◆密集市街地のまちづくりは、これまで、ともしればハードに関する技術論及び経済状況に関することに終始してきた。しかし、まちには現に生きている人々がいる。その人たちの生活と心情に即したまちづくりの実践には、技術論と経済論のみでは絶対的に不足である。もっと広範な英知の結集が不可欠であるが、その方途があるのか。

真野洋介氏

1971 年生まれ 倉敷市出身 早稲田大学理工学部大学院博士課程修了、博士 (工学) 現在 東京工業大学大学院社会理工学研究科社会工学専攻 准教授 学位論文「関東大震災復興期における財団法人同潤会を中心とした住環境整備プロセスに関する研究」(2000 年 早稲田大学)

【主な著書等】

『同潤会のアパートメントとその時代』(鹿島出版会、共著) 『復興まちづくりの時代』(建築資料研究社、共著)、『復興まちづくり』(分担執筆、丸善)、『路地からのまちづくり』(分担執筆、学芸出版社)

【受賞等】2001 年 日本建築学会奨励賞 2004 年 日本建築学会「都市建築の発展と制御に関する論文」入選 2006 年 科学技術分野の文部科学大臣表彰 若手科学者賞 2009 年 日本都市計画家協会 楠本洋二

田中常夫氏

1960 年東京生まれ 早稲田大学大学院建設工学専攻土木工学専門分野修了 (工学修士) 公益財団法人東京都道路整備保全公社用地部マンション用地課長

1986 年東京都庁。2002 年第二区画整理事務所移転係長、秋葉原、汐留地区などの土地区画整理事業を担当。2005 年タイ王国土地区画整理促進プロジェクト派遣 (JICA 長期専門家)、2008 年再開発事務所まちづくり推進係長、東池袋地区などの沿道一体整備事業に取組む。2013 年建設局用地部木密路線生活再建支援担当、特定整備路線の関係権利者を対象とした生活再建支援策を策定。

2014 年 4 月から現職

◆東京都では首都直下型地震の切迫性を踏まえ、「木密地域不燃化 10 年プロジェクト」に取り組んでいます。木密地域の防災性を高めるには、街路整備だけでは不十分で、燃えないまちのためにしていくためのさまざまな方策が必要です。皆様のご助言をお願いいたします。

堀川賢彦氏

1960 年生まれ 東京理科大学大学院修了 1985 年計画工房入社 現在取締役

主に、住民参加によるまちづくりから、地区計画の策定支援、地区計画区域内の建替え・特に共同建替え事業を実践してきました。密集市街地のまちづくりでは、住環境や防災など地区特性をとらえたルールづくりや仕組みづくり、地権者等の生活再建の対応などにたずさわってきました。

若葉地区での取り組みが 2013 年 都市住宅学会賞・業績賞 2014 年 建築学会業績賞受賞

【主な担当地区】

世田谷区旭小学校周辺地区、新宿区若葉・須賀町地区、新宿区若葉地区の共同建替え事業、杉並区放射 5 号線沿道地区、渋谷区桜丘地区、墨田区亀沢地区